

Kartnorm Indoor
インドア〇 地図図式
(スウェーデン式)
Version: 2023-09-19

はじめに

インドア オリエンテーリング用の地図図式策定の目的は、主催者や地図作成者にとっての作業を容易にし、参加者にとっての品質と認知度を高め、さまざまな建物、状況、瞬間を表現できるようにすることです。

この図式は規則・規制ではなく、ガイダンス的なサポートとして考慮してください。インドア オリエンテーリングはまだ発展途上にある若い分野です。この地図図式の策定によって発展が促進されることを期待します。



地図の縮尺

インドアOの地図の縮尺はさまざまですが、参加者にとっては特に関係ありません。

地図を読みやすくするために、縮尺はできるだけ大きくする必要があります。

ガイドラインとしては、「紙面を埋める」ようにして、できるだけ大きな縮尺を使用することです。

可能な限り大きな縮尺を提供するには、地図のレイアウトを調整する必要がある場合があります。

縮尺を考慮する場合は、最小測定値の推奨事項も考慮する必要があります。次のセクションを参照してください。

地図の印刷

インドアOの地図印刷は、誰もが公平な条件を得ることができるよう、通常の森のオリエンテーリングの地図印刷と同様に重要です。

地図印刷の品質が悪くないと、最小寸法と色は意味を失います。

色

印刷された地図が地図ファイルと一致するためには、線が正しいことが重要です。

地図標準ファイルでは、印刷結果が良くなるように色が順番に配置されているので、そのファイル内の記号から始めるとよいでしょう。

各プリンターのカラー設定は異なるため、共通のカラー設定はありません。

この標準のシンボルのいくつかはスプリントマップの標準に基づいているため、プリンターは設定を行うときにスプリントマップの標準から始めることができます。

最小寸法

インドアOのマップは縮尺が異なるため、各文字の最小寸法はありませんが、読みやすさを考慮して推奨値を設けます。

測定値は印刷された地図上で、ミリメートル単位で計算されるため、主催者/地図作成者は地図をテスト印刷し、手動で測定値を確認する必要があります。

重要なドア開口部の最小寸法は 1.33 mm 以上です。

重要な通路（階段/廊下）の最小寸法は 2.0 mm 以上です。

階段文字の最小幅は 2.0mm です。

地図記号

このあとのページでは、インドア〇の地図の記号を紹介します。

- 建物内の大型の家具や調度品はインドア〇の地図に描く必要があります。
- 小さいものや動きやすいものは描かないください。椅子/スツール、キャスター付きキャビネット、ハンガーラックなど。
- これ以外のローカル記号を指定する場合はプログラムに記載します。

床面

歩行可能なすべての床面（階段と屋外通路を除く）は、ベージュ色で描画されます。



壁面

通常、壁は同じ厚さで一般化します。非常に厚い壁の場合、地図の読み取りに影響する場合は、2つの壁の間を灰色で塗りつぶして描くことができます。

外壁は 30% 厚く描画して、建物の外縁を明確にすることができます。



フェンス

通行できないフェンス、例：バルコニー



階段英文字

通行禁止のバリアと同じ紫色で描画された任意のフォント。

この文字は階段の近くに置いて、読みやすく、他の階段の文字と混同されないようにする必要があります。

推奨される最小幅は 2 mm



テーブル・机

テーブルはその形状に従って描画されます。複数のテーブルが連続している場合、まとめて描画して面を形成できます。

テーブルの高さは最大 1m で、それより高いものは棚/食器棚として描きます。但しスタンディングテーブルは 1m より高くてもテーブルで描くことがあります。



棚/食器棚

棚や食器棚はその形状に従って描画されます。

高さが 1m を超えるものをこの記号で描画して、それより低いものはテーブルの記号で描画します。



椅子・ベンチ

椅子やベンチはその形状に従って描画されます。ソファや大型の肘掛け椅子のみが描かれます。小型の一人がけの椅子は描画しません。



歩行不能エリア

たとえば、ごみ集積場所、可動物、楽器、特殊な機器などが置かれている歩行不能なエリアなどです。

立入禁止区域（紫色のグリッド）とは混同しないでください。

アリーナまたはその他の制限されるエリアで使用されます。



階段

可能な限り、現地の段数 = 地図上の段数で描画

階段の描画幅は、現地の階段の幅と同じ幅で描画する必要があります。

4 段以上ある場合は、階段の矢印を重ねて描画します。



スロープ

大きな高低差を伴うスロープがマップ上に描画される場合、スロープの開始点と終了点に破線を描画します。



大きな段差

通過可能な大きな段差。

例：舞台の段差など



密室・不使用空間

使用されていない部屋は灰色で描画します。地図内に大きな灰色の領域がある場合は、それらを完全に削除できます。

ただし、次のような空間は白色で描画されます。

(例：使用されていない中庭、階段やあかり取りなどの吹き抜け空間)



植栽

床に設置された大型の植物で、地図の読み取りやコントロールポイントに使用できます。



トイレ洋式便座・小便器

Vは便座の丸い部分の方向を示す。



シンク

手洗い場のシンクや水飲み場



シャワー



その他の特徴物

例：彫像、ジム設備、ファン装置、最終コントロール。

青い×は主に水関連です。

例：噴水。

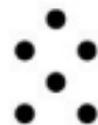
特定の記号がわかりにくいリスクがある
場合には、プログラムにその旨を記載する
必要があります。



走行に支障がある区域

床に凹凸があるエリアや天井が低いスペース。

走行性の低下は床の色の上に描かれます。



ストーブ

ボタン/ノブ/オーブンドアは V 字の先端に位置します。



屋外通路。

屋外の通路は、外側の端に紫色のラインが表示されます。



バリア・通行禁止

●通行禁止とするバリアはコース記号と同じ紫色で描きます。

● コース記号の約3倍の太さで描画してください。

● 通行禁止とするバリアは、コース記号と混同されないよう、コース記号の円やラインを一部カットすることが重要です。

● 階段や廊下にバリアを設ける場合

バリアを描画するスペースがない場合は、まず階段/廊下を拡張することができます。または、バリアを少し狭く描画することもできます。

コース描画

- コントロールの円、ライン、その他の印刷記号はスプリント標準と同じ寸法でなければなりません、

- コースはランナーにとってシンプルで読みやすいように慎重に計画する必要があります。コースとラインが何度も交差すると、ランナーがコースを区別するのが難しくなります。

- ランナーにとってできるだけ読みやすく論理的なものにするために、コントロールの円とラインは慎重にカットする必要があります。

- コース自体がランナーにとって十分な挑戦である必要がありますが、コース描画の複雑さによってその難易度を高めることはあってはなりません。

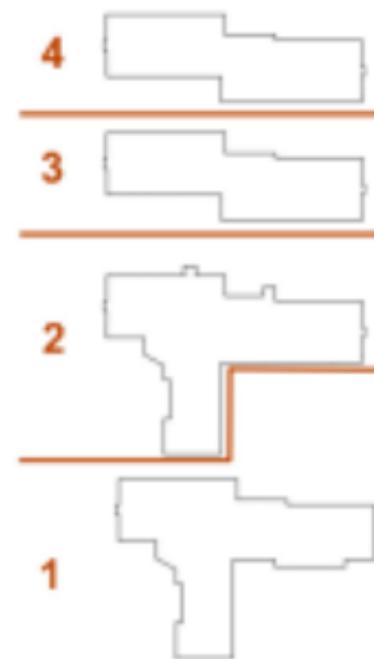
階層表示

- インドアOの地図上の階層（フロア）は相互に明確に分離する必要があり、階層（フロア）を簡単に識別できる必要があります。

- 階層の間には太い分離線を設置

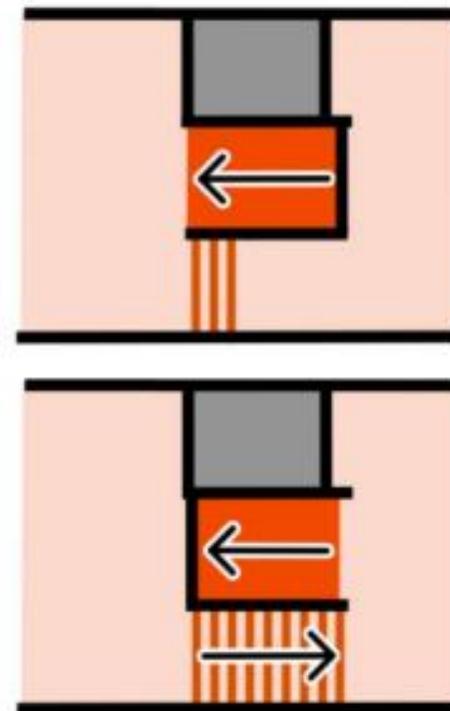
- 大きい文字で「階数」を表示

- マップ レイアウトは、ランナーの準備に役立つようプログラムで公開できます。（以下の例を参照）



階段の描画

- 異なる階層に続く階段にオレンジ色をカバーします。
- す。
- 同じ階層図内の階段には段を表示します。4段以上の階段には矢印を重ねて描きます。
- 階段の矢印は常に登り方向を指します。
 - 登り方向の矢印は階段の長さに沿っており、白く縁取ります。
- 階段への明確な「入口」が分かるよう、反対側を壁またはフェンスで区切ることが重要です。
- らせん階段は矢印なしで描画されます。大きならせん階段では矢印を描くことができます。

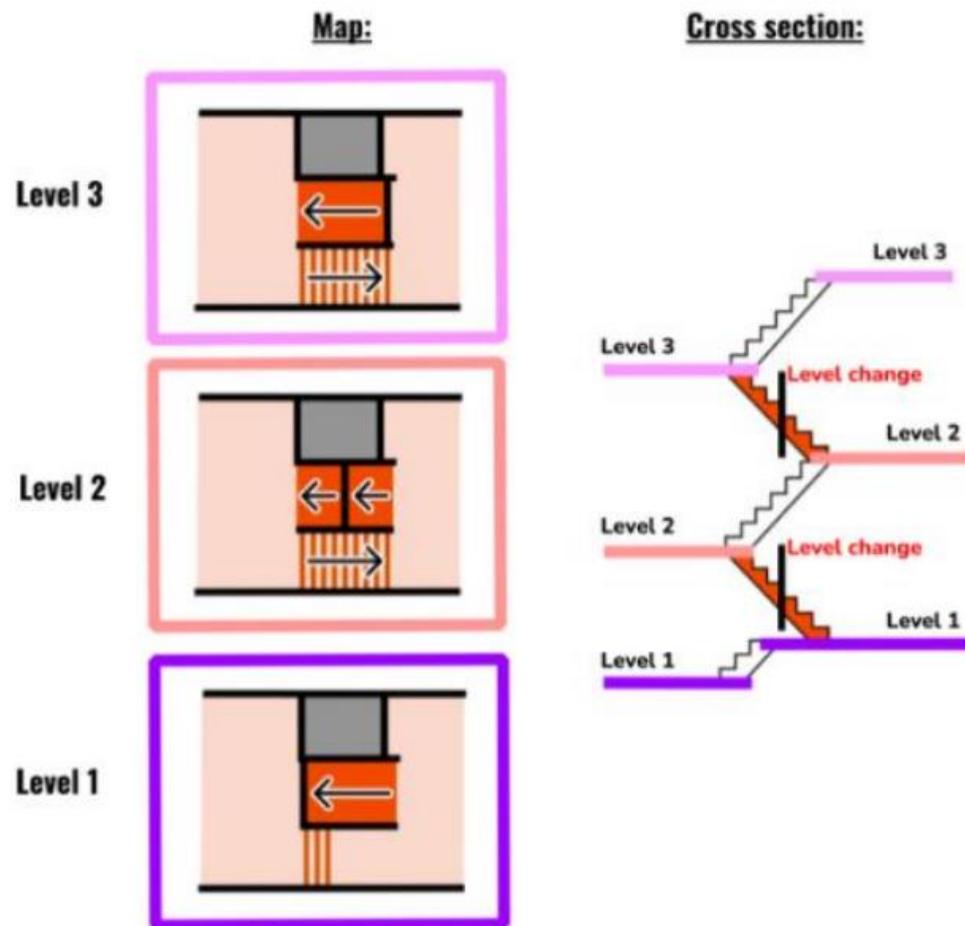


階段の表記の例

階段はインドアOの地図の重要な部分であるため、論理的かつ一貫した方法で描画することが重要です。

地図を描くときに階段のコンセプトを立て、どの部分がどの階に属するかを決める必要があります。

これは地図図式で記述することはできませんが、地図の作成ごとに行う必要があります。



一方通行路

一方通行路では、ランナーは矢印と同じ方向にのみに走ることができます。

一方通行路は、地図上で通路の幅全体に伸びる「V字の矢印」で描かれます。

地図上の一方通行は階段と同じ色になります。

作図用のシンボルセットには、一方通行路用の既製のシンボルがあります。通路の幅に応じて、シンボルを異なる幅に拡大縮小する必要があります。

現地では、黄色または黒黄色のテープで床面にV字のマークが貼付され、逆方向から来る人のために進入禁止の標識を標示します。



はじめてインドアOを開催する方へ

インドアOの地図をできるだけ正確にするには、優れた基礎資料が必要です。

建物のできるだけ詳細な地図、少なくとも壁と出入り口が書かれたものが必要です。

建物の設計図がない場合は、建物内の避難マップを利用することができます。

基本的な資料が利用できない場合は、詳細な地形図などを基に建物の外壁を描くことができます。

地図作成の流れ

1. 基本資料を背景画像としてマッピング プログラムに挿入します。 地図標準に対して正しい縮尺になるように背景画像を調整します。

2. 基本的な素材を描きます。現地調査前にできるだけ自宅で行うことで、「現場」作業が容易になります。

3. 建物内の現場での地図描画、特に家具。 基本的な素材、特にドアが正しいことを再確認してください。

4. すべて描画したら、床のペイントと階段の文字を追加します。

5. 適切な縮尺でテスト印刷を作成します。その後ロゴやテキストを含むレイアウトを調整します。